

産業建設委員会・分科会

質 地域公共交通活性化事業費に關し、まちなかコサクル実証運行の概要は。

答 期間を12月から7年3月末までの4か月を予定し、5年度に実施した区域のほか、松長布、橋中、東栄団地、下浜を新たに運行区域に加え、市内タクシー事業者へ委託しようとするものである。利用料金は、アプリ予約2000円、電話予約3000円に見直すこととしている。

質 停留所設置の要望があった場合の対応は。

答 運行区域の拡大に伴い、停留所は若干増えると考えているため、要望があれば検討していきたい。

質 住宅リフォーム支援補助金を増額しようとする理由は。

答 8月末現在の交付件数が440件、補助金額5669万5000円となっており、例年の実績を参考とした場合に不足が見込まれることから増額しようとするものである。

交付件数は650件程度を見込んでいる。

質 令和5年度能代市水道事業会計決算の認定について、有収率の今後の見通しは。

答 有収率が低下すれば、浄水場等の更新の際に規模が大きくなることが考えられる。向上することである。二ングコストが下がる可能性もあることから、老朽管の更新と合わせて漏水調査を実施し、可能な限り向上に努めていきたいと考えている。

(鍋谷 暁)



昨年度のまちなかコサクル実証運行の様子

議会改革調査特別委員会

7月29日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づいて検討を行った。

タブレット端末の活用について

意見 iPad以外の機種も検討すべきではないか。

意見 県内他市議会での導入実績をみてもiPadがよいのではないか。

導入経費について

意見 当局からもアドバイスをもらいながら進めるべき。

意見 当局を定めることで有利な財源が得られるのでは。

運用ルールについて

意見 他市議会の事例を参考に、本市議会のルールを検討すべき。

当局との意見のすり合わせについて

意見 当局の使用を確認すべき。

意見 当局と一緒に検討すべき。

協議結果 出された意見を持ち帰り、それを基に、次回、各会派で検討した意見を持ち寄り、意見集約に向けて協議することとした。

9月17日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づいて検討を行った。

タブレット端末の活用について

タブレット端末等の仕様について

意見 必要容量を精査すべきではないか。

意見 タッチペンは、必要であれば自分で用意すべきではないか。

情報伝達機能について

意見 セキュリティーの観点から、電子メールがよいのではないか。

意見 既読、未読が分かるアプリを活用することにより、人的リソースの削減にも繋がるのではないか。

運用ルールについて

意見 先進事例を参考とし、必要に感じ見直しを図る。

意見 セキュリティー上、オペレーターینگシステムのアップデートは速やかにすべき。

協議結果 タブレット端末等の仕様のうち機種、通信方法、文書管理機能及び導入経費については、事務局と当局で調整したうえで選定等を進めることと意見集約した。

議員定数、議員報酬及び政務活動費について

意見 本委員会の結論を示す目途について、慎重に話し合おうべき。

意見 慎重にすべき問題で目途を決めるべきではない。

意見 慎重審議は時間をかけて審議することではない。

今後の進め方について

協議結果 論点整理をするため、議員定数、議員報酬及び政務活動費それぞれ項目について、あるべき姿や現状認識、あるべき姿に近づく課題等を整理し、次回、協議を進める。

議員定数等について、類似自治体の現状を参考にしたいとの意見があり、資料を作成し事前配付する。

(安岡明雄)